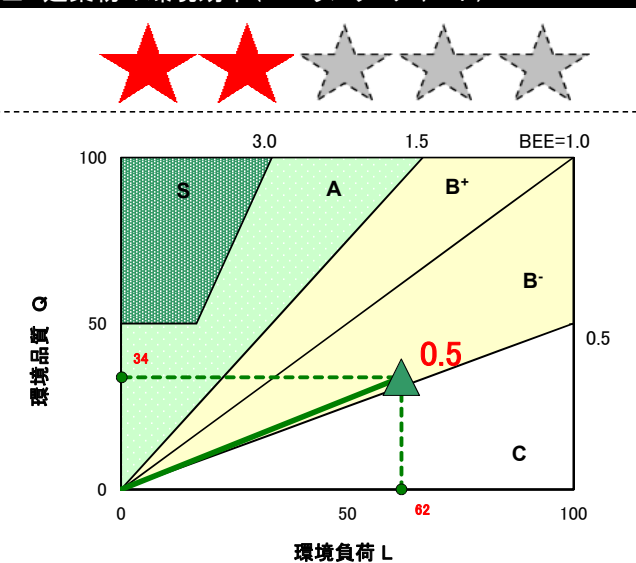


# CASBEE<sup>®</sup>熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	(株)くまさんメディクス大津南第三工	階数	地上1階		
建設地	熊本県菊池郡大津町大字岩坂字笹	構造	S造		
用途地域	無指定(区域区分の指定無し)	平均居住人員	60人		
気候区分	6地域	年間使用時間	2,600時間/年		
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2022年12月 予定	評価の実施日	2022年3月20日		
敷地面積	17,290 m <sup>2</sup>	作成者	木境		
建築面積	4,594 m <sup>2</sup>	確認日	2022年3月29日		
延床面積	4,588 m <sup>2</sup>	確認者	木境		

## 1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



環境品質 G

環境負荷 L

BEE = 0.5

■ BEE(環境効率) =  $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$


■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

■ ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出性能(ランク表示)




排出率

**104%**

## 2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価



【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進

【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現

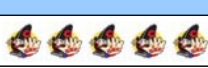


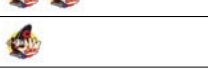
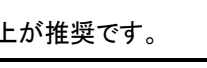
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全

【重点事項4】 循環型社会の実現

評価点

**50**

■ 熊本県重点評価基準

判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	
80点以上100点未満	
60点以上80点未満	
40点以上60点未満	
40点未満	

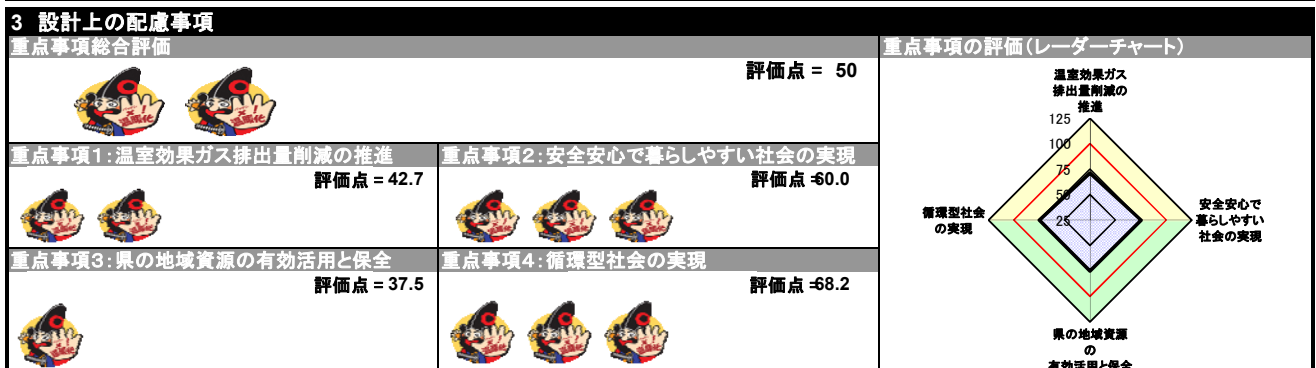
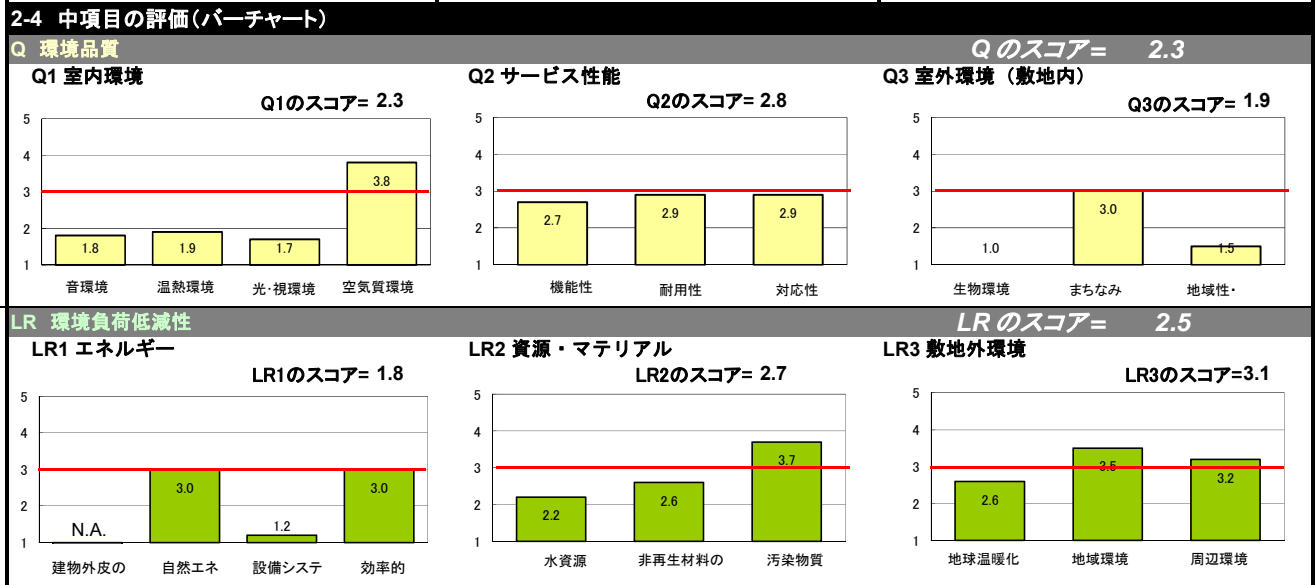
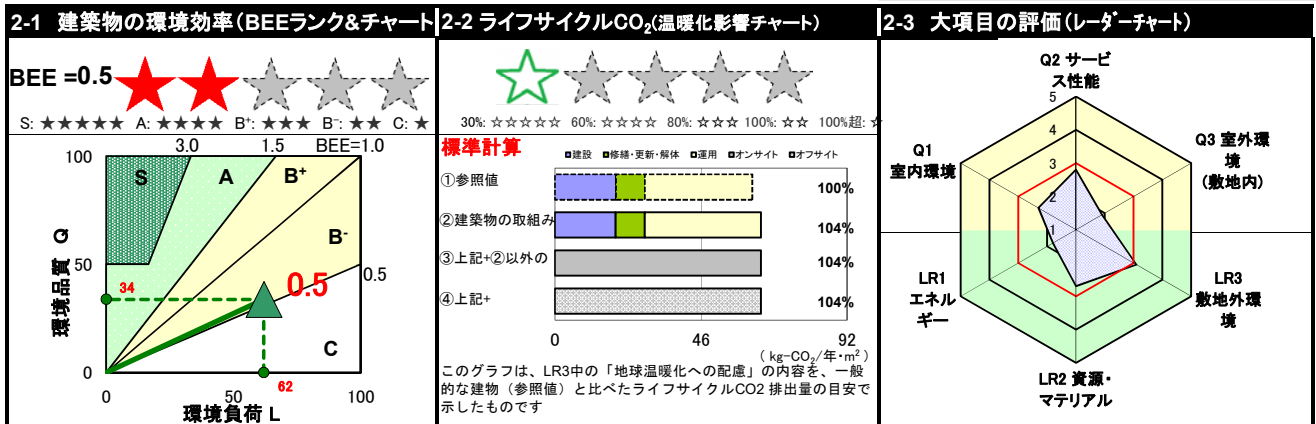
※評価点は、100点以上が推奨です。

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(株)くまさんメディクス大津南第三工	階数	地上1階
建設地	熊本県菊池郡大津町大字岩坂字箱	構造	S造
用途地域	無指定(区域区分の指定無し)	平均居住人員	60人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,600時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年12月 予定	評価の実施日	2022年3月20日
敷地面積	17,290 m <sup>2</sup>	作成者	木境
建築面積	4,594 m <sup>2</sup>	確認日	2022年3月29日
延床面積	4,588 m <sup>2</sup>	確認者	木境



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# CASBEE®熊本《新築》【配慮事項】

## 4 設計上の配慮事項

### 総合

(建物・敷地全体の環境に配慮したことに関するコンセプト)

既存建物の増築となる為、既存建物と外壁等を合わせている。  
また、周囲との景観の調和に配慮し緑地を配置した。

### Q1 室内環境

(遮音、温度、湿度、採光、換気など室内環境に配慮した事項)

- ・F☆☆☆☆建材を採用
- ・全館禁煙とし、施設内の空気質環境に配慮。

### Q2 サービス性能

(内外装や建物の維持管理などに配慮した事項)

- ・清掃が容易なよう、工場エリアはケイカル板に塗装。
- ・工場エリアは天井高さを十分に確保し、設備機器等の更新に備える。

### Q3 室外環境 (敷地内)

(緑地、景観、機器の排熱などに配慮した事項)

敷地内に緑地を設け、暑熱環境に配慮した。

### LR1 エネルギー

(太陽光、太陽熱、高効率機器の採用などに配慮した事項)

工場エリアは窓を無くし、日射遮蔽性を高め、空調負荷が低減できるよう計画した。

### LR2 資源・マテリアル

(リサイクル材の使用、雨水の利用などに配慮した事項)

限りある資源を有効に利用する。可能な限りグリーン購入法にかかる製品を採用する。

### LR3 敷地外環境

(建物による周辺地域への影響に配慮した事項)

適切な数の駐車駐輪スペースを計画し、敷地内での車両通行ルート及び工場内までの動線計画を行い、周辺の交通負荷軽減に配慮した。

### その他

※届出対象の建築物の面積情報

- 建築面積：既存2,382.11 + 増築2,212.28 = 4,594.39m<sup>2</sup>
- 延床面積：既存2,375.23 + 増築2,212.28 = 4,587.51m<sup>2</sup>

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**(株)くまさんメディクス大津南第三工場**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄			評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>2.3</b>
<b>Q1 室内環境</b>					<b>0.31</b>		-		<b>2.3</b>
<b>1 音環境</b>				<b>1.8</b>	0.15	-	-		<b>1.8</b>
1.1 室内騒音レベル				<b>3.0</b>	0.40	-	-		
1.2 遮音				<b>1.0</b>	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能				1.0	0.60	-	-		
2 界壁遮音性能				1.0	0.40	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-		
1.3 吸音				<b>1.0</b>	0.20	-	-		
<b>2 温熱環境</b>				<b>1.9</b>	0.35	-	-		<b>1.9</b>
2.1 室温制御				<b>1.7</b>	0.50	-	-		
1 室温				1.0	0.38	-	-		
2 外皮性能				1.0	0.25	-	-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御				<b>1.0</b>	0.20	-	-		
2.3 空調方式				3.0	0.30	-	-		
<b>3 光・視環境</b>				<b>1.7</b>	0.25	-	-		<b>1.7</b>
3.1 昼光利用				<b>2.4</b>	0.30	-	-		
1 昼光率				2.0	0.60	-	-		
2 方位別開口				-	-	-	-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	-	-		
3.2 グレア対策				<b>1.0</b>	0.30	-	-		
1 昼光制御				1.0	1.00	-	-		
3.3 照度				<b>3.0</b>	0.15	-	-		
3.4 照明制御				<b>1.0</b>	0.25	-	-		
<b>4 空気質環境</b>				<b>3.8</b>	0.25	-	-		<b>3.8</b>
4.1 発生源対策				<b>4.0</b>	0.50	-	-		
1 化学汚染物質	建築基準法を満たす、ほぼ全面的(70%以上)			4.0	1.00	-	-		
4.2 換気				<b>2.6</b>	0.30	-	-		
1 換気量				3.0	0.33	-	-		
2 自然換気性能	窓面積/床面積0.049(1/30以上)			4.0	0.33	-	-		
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.33	-	-		
4.3 運用管理				<b>5.0</b>	0.20	-	-		
1 CO <sub>2</sub> の監視				-	-	-	-		
2 喫煙の制御	全館禁煙			5.0	1.00	-	-		
<b>Q2 サービス性能</b>				-	<b>0.30</b>	-	-		<b>2.8</b>
<b>1 機能性</b>				<b>2.7</b>	0.40	-	-		<b>2.7</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>2.3</b>	0.40	-	-		
1 広さ・収納性				1.0	0.33	-	-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.33	-	-		
3 バリアフリー計画				3.0	0.33	-	-		
1.2 心理性・快適性				<b>3.6</b>	0.30	-	-		
1 広さ感・景観	事務スペースの天井高さ2.9m以上、窓の設置			4.0	0.33	-	-		
2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペースが執務スペースの1%以上			4.0	0.33	-	-		
3 内装計画				3.0	0.33	-	-		
1.3 維持管理				<b>2.5</b>	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保				2.0	0.50	-	-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>2.9</b>	0.30	-	-		<b>2.9</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振				<b>3.0</b>	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.2</b>	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	21年以上~30年未満			4.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				<b>2.4</b>	0.20	-	-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備				1.0	0.20	-	-		
3 電気設備				3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備				2.0	0.20	-	-		

<b>3 対応性・更新性</b>		<b>2.9</b>	0.30	-	-	<b>2.9</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>		<b>3.4</b>	0.30	-	-	
1 階高のゆとり		3.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.1~0.3	4.0	0.40	-	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>		<b>2.6</b>	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性		1.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>		-	0.39	-	-	<b>1.9</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>		<b>1.0</b>	0.30	-	-	<b>1.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>		<b>1.5</b>	0.30	-	-	<b>1.5</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		1.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>		-	-	-	-	<b>2.5</b>
<b>LR1 エネルギー</b>		-	0.40	-	-	<b>1.8</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		-	-	-	-	-
<b>2 自然エネルギー利用</b>		<b>3.0</b>	0.13	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>	[BEI][BEIm] = 1.08	<b>1.2</b>	0.63	-	-	<b>1.2</b>
<b>4 効率的運用</b>		<b>3.0</b>	0.25	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価		<b>3.0</b>	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1 モニタリング		-	-	-	-	
4.2 運用管理体制		-	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>		-	0.30	-	-	<b>2.7</b>
<b>1 水資源保護</b>		<b>2.2</b>	0.20	-	-	<b>2.2</b>
1.1 節水		1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>		<b>2.6</b>	0.60	-	-	<b>2.6</b>
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	S造:躯体と仕上げ材が容易に分別可能	4.0	0.22	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>		<b>3.7</b>	0.20	-	-	<b>3.7</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	発泡剤を用いた断熱材の使用なし	5.0	0.50	-	-	
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>		-	0.30	-	-	<b>3.1</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		<b>2.6</b>	0.33	-	-	<b>2.6</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>		<b>3.5</b>	0.33	-	-	<b>3.5</b>
2.1 大気汚染防止	燃焼機器使用なし	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>		<b>3.2</b>	0.33	-	-	<b>3.2</b>
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	1.00	-	-	
2 振動		-	-	-	-	
3 悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	チェックリストの過半を満たす、配慮事項の過半を満たす	5.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

## 熊本市重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 (株)くまさんメディクス大津南第三工場

■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2017年版

★熊本市重点評価結果				総合評価点		50
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				42.7	0.40	17.08
Q1-2.1.2	外皮性能	1.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	1.0	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	0.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	1.2	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				60	0.20	12.00
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	1.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				37.5	0.20	7.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	1.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	0.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				68.2	0.20	13.64
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.2	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	2.9	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

## ■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

## ◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和  
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

## ◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20  
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数